

富士の国山梨で、

確認しよう印刷の底力。

「関東甲信越静地区印刷協議会 年次大会を開催」

ACTIVE KUMIAI



主管として挨拶を述べる
佐野理事長

関東甲信越静
地区印刷協議会
（日暮秀一会長）
は去る7月5日、
6日の2日間、本
県において「第
61回年次大会」
を開催した。今大

山梨県印刷工業組合

会のテーマは「富士の国山梨で、確認しよう印刷の底力。」とし、主管を山梨県印刷工業組合（佐野龍一理事長）が務めた。

当協議会は、関東甲信越静10県の印刷工業組合にて構成されている。年次大会は、各県の理事長で構成される「理事長会」、印刷業界の各分野（経営革新・マーケティング、環境・労務、組織活性、教育・研修、CSR推進、官公需対策）のテーマについて話し合われる「分科会」、理事長会及び分科会にて取りまとめた内容について報告を行う「全体会議」で構成されており、業界の現状や課題等の共通認識を持ち、それら課題に取り組んでいくことを目的としている。

今大会では、印刷物の減少や急速なIT化により業態変化が進む今、印刷業界が生き残っていくためには、各企業が「ソリューション・プロバイダー」（顧客の課題を発見し、印刷と関連メディアを駆使して解決策を提供すること）としての役目を発揮していくことが必要である旨の意見が出された。また、仕事量の減少等による価格競争の激化により廃業等が進む中、CSRを通じた中小企業の経営品質の改善が急務であるため、上部団体である全日本印刷工業組合連合会のCSR認定制度を積極的に活用し、企業のCSR向上を図っていく旨が確認された。

年次大会ではこの他、記念式典、懇親会等が行われ、本会内藤会長も出席した懇親会では、同協議会を構成する各県の印刷組合が各県の状況など、情報交換を活発に行っていた。



懇親会での様子